

【技術分類】 1 - 2 - 3 インプラント治療 / 外科的処置用器材 / 計測用器具

【技術名称】 1 - 2 - 3 - 1 深度ゲージ

【技術内容】

インプラント治療において、インプラントの埋入窩をドリルで形成する際に埋入窩の深さや直径を測定するために使用する器具である。デプスゲージともいう。

材質はステンレス鋼、チタンなど金属材料が使用される。パイロットドリル、ツイストドリルなどで埋入窩を形成した後に深さや直径を確認するものである。深さは深度ゲージに刻印された深度マーカーを使用して測定する。

【図】

図 1 深度ゲージ



【出典】

図 1： 表題：「ボールエンドデプスゲージ」、関連箇所：「Dental デンタルサイト>ホーム>デンタルサイト>製品ガイド>インプラント>計測器>ボールエンドデプスゲージ」、著者：株式会社 YDM、掲載場所：株式会社 YDM ホームページ、検索日：2006 年 9 月 27 日、アドレス：<http://www.ydm.co.jp/dentists/products/implant/30002.html>

【技術分類】 1 - 2 - 3 インプラント治療 / 外科的処置用器材 / 計測用器具

【技術名称】 1 - 2 - 3 - 2 方向指示棒

【技術内容】

インプラント治療において、各種ドリルで形成したインプラントの埋入窩の方向を手術中に確認する際に使用する器具である。ディレクションインディケータ、パラレリングピン、並行ピンなどともいう。

材質はステンレス鋼、チタンなど金属材料が使用される。形成されたインプラント埋入窩へ方向指示棒を挿入して、角度や方向について事前に計画した内容で埋入窩が形成されているか確認するものである。

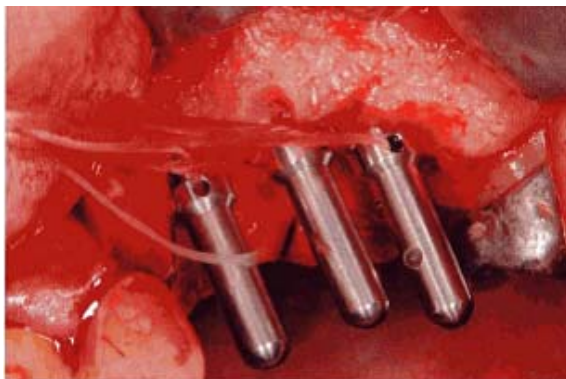
また、方向指示棒の挿入状態から埋入窩周辺の骨量について検討し、事前の計画では把握できなかった骨量不足などを確認した場合は、インプラント埋入位置の修正や骨移植による骨増量などを検討する。

【図】

図 1 方向指示棒



図 2 方向指示棒の使用方法



【出典】

図 1： 表題：「インプラントカタログ：歯肉縁上 1 回法 SwissPlus 専用器具：外科用器具：オプション：ストレートパラレリングピン、スレッドパラレリングピン」、関連箇所：「Home > 製品情報 > インプラントカタログ > 歯肉縁上 1 回法 SwissPlus 専用器具：専用器具」、著者：株式会社インプラテックス、掲載場所：株式会社インプラテックスホームページ、検索日：2007 年 1 月 30 日、

アドレス：<http://www.itx.co.jp/prodinfo/catalog/contents/catalog06.shtml>

図 2： 刊行物名：「今から始める外科学総論に基づいたインプラント外科」、発行年月日：2006 年 9 月 10 日、監修・著者名：坂下英明、著者名：鈴木正二、重松久夫、福田正勝、馬越誠之、宮本日出、堀内裕子、発行所：クインテッセンス出版株式会社、出典箇所：46 ページ、図番号：図 3-4c、図面名称：「平行ピンにて埋入方向の確認」

【技術分類】 1 - 2 - 3 インプラント治療 / 外科的処置用器材 / 計測用器具

【技術名称】 1 - 2 - 3 - 3 ドリルガイド

【技術内容】

インプラント治療において、2 本以上のインプラントを埋入する際に、最初に形成した埋入窩との平行性を確保するために使用する器具である。

材質はチタン製で精密に加工されている。形成する埋入窩の距離に応じて、複数の幅のものがある。インプラント窩とドリルホールに対応するガイド孔が形成されており、センター間の距離がマーキングされているものである。

最初に形成されたインプラント埋入窩へ方向指示棒の挿入あるいはインプラントの埋入した後、ドリルガイドの基準孔を方向指示棒あるいはインプラントに装着して、ガイド孔にドリルを挿入して使用する。これにより新たに穿孔した埋入窩の平行性が確保される。

【図】

図 1 ドリルガイド

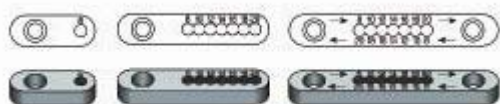
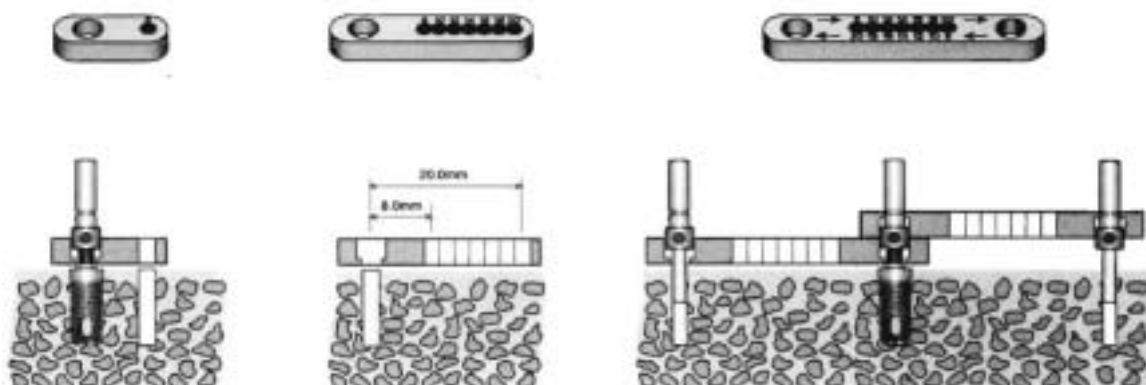


図 2 ドリルガイドの使用法



【出典】

図 1： 表題：「インプラントカタログ：完全埋入型 2 回法 Screw-Vent 外科 / 補綴用器具：外科用器具：オプション：ドリルガイド」、関連箇所：「Home > 製品情報 > インプラントカタログ > 完全埋入型 2 回法 Screw-Vent 外科 / 補綴用器具」、著者：株式会社インプラテックス、掲載場所：株式会社インプラテックスホームページ、検索日：2006 年 10 月 24 日、アドレス：<http://www.itx.co.jp/prodinfo/catalog/contents/catalog03.shtml>

図 2： 刊行物名：「口腔インプラント関連器具 総合カタログ vol.4」、発行年月日：不明、発行者：株式会社インプラテックス、出典箇所：25 ページ・中央部

【参考資料】

刊行物名：「口腔インプラント関連器具 総合カタログ vol.4」、発行年月日：不明、発行者：株式会社インプラテックス、参考箇所：25 ページ

【技術分類】 1 - 2 - 3 インプラント治療 / 外科的処置用器材 / 計測用器具

【技術名称】 1 - 2 - 3 - 4 ティッシュゲージ

【技術内容】

インプラント治療において、インプラントを埋入させ、オッセオインテグレーションを進行させた後に、適切な高さのアバットメントを選択する際に歯肉の高さを測定するために使用する器具である。

材質は純チタンなど金属材料が使用される。深さはティッシュゲージに刻印された歯肉インディケータ部を使用して測定するものである。

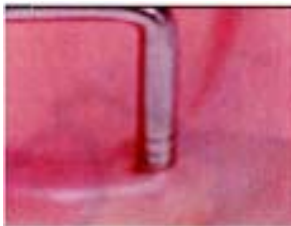
オッセオインテグレーションを進行させた後に、カバースクリュ上をカバースクリュミルやリーマーでアバットメントの装着に適した形状にインプラント上縁部の骨の形状を整えたのちに、インプラント内孔にこのティッシュゲージを挿入して、インプラント頭部から歯肉縁までの距離を測定するものである。

【図】

図 1 ティッシュゲージ



図 2 ティッシュゲージの使用法



【出典】

図 1： 刊行物名：「GC IMPLANT Re CATALOGUE（専用カタログ）」、発行年月日：2005 年 12 月、発行者：株式会社ジーシー、出典箇所：26 ページ・下段・「ティッシュゲージ」

図 2： 刊行物名：「I. 外科術式 ～(2)2 次手術（専用マニュアル）」、発行年月日：不明、発行者：株式会社ジーシー、出典箇所：2 ページ・中段右

【参考資料】

参考資料 1： 刊行物名：「ブローネマルクシステム インプラント埋入マニュアル(専用カタログ)」、発行年月日：不明、発行者：ノーベルバイオケア株式会社、参考箇所：30 ページ

参考資料 2： 刊行物名：「I. 外科術式 ～(2)2 次手術（専用マニュアル）」、発行年月日：不明、発行者：株式会社ジーシー、参考箇所：2 ページ

参考資料 3： 刊行物名：「GC IMPLANT SYSTEM」、発行年月日：不明、発行者：株式会社ジーシー、参考箇所：23 ページ

【技術分類】 1 - 2 - 3 インプラント治療 / 外科的処置用器材 / 計測用器具

【技術名称】 1 - 2 - 3 - 5 ボーンキャリパー

【技術内容】

インプラント治療において、インプラント埋入箇所の歯槽骨幅を測定する際に使用する器具である。

材質はステンレス鋼や純チタンなど金属材料が使用される。形状ははさみに類似しており、先端が鉤状に湾曲しており、歯槽骨幅の測定を容易にしている。交差部付近にスケールが固定されており、歯槽骨幅がそのまま読み取れるものである。

歯槽骨幅測定の結果が十分であればインプラント埋入窩を形成する。不十分であればリッジエクスパンションチゼルで歯槽骨幅を拡げた後、インプラント埋入窩を形成する。

【図】

図 1 ボーンキャリパー



【出典】

図 1： 刊行物：「General Catalog (総合カタログ) vol.14」、発行年月日：2005 年 10 月、発行者：株式会社 YDM、出典箇所：74 ページ、図番号：なし、図面名称：「ボーンキャリパス」